

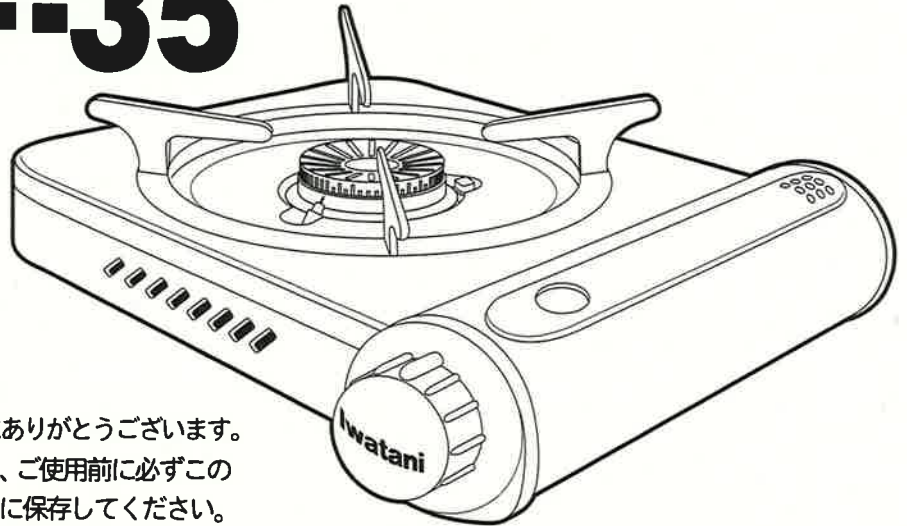
Iwatani

ご使用前に必ずこの「取扱説明書」をお読みください。

取扱説明書

イワタニカセットフー

CB-ASF-35





このたびは、お買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
本商品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ずこの
「取扱説明書」をお読みください。そして大切に保存してください。
保証書付：裏表紙が保証書になっています。

目次

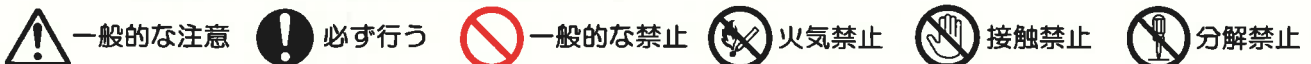
各部の名称、仕様、特長	1~2
特に注意していただきたいこと	3~5
器具の使用方法について	6~7
お知らせブザーが鳴ったときは	8
日常の点検・手入れ、故障かなと思ったら	9~10
アフターサービス、保証書	11

本商品は利便性を追求した簡易こんろです。過酷な使い方、特殊なご使用をされますと、けがや火災など思わぬ事故の原因となったり、本商品の焼損の恐れがあります。本取扱説明書に記載されている内容を十分ご理解の上でご使用ください。

〈ご使用前に〉製品を正しくお使いいただくため、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、この取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

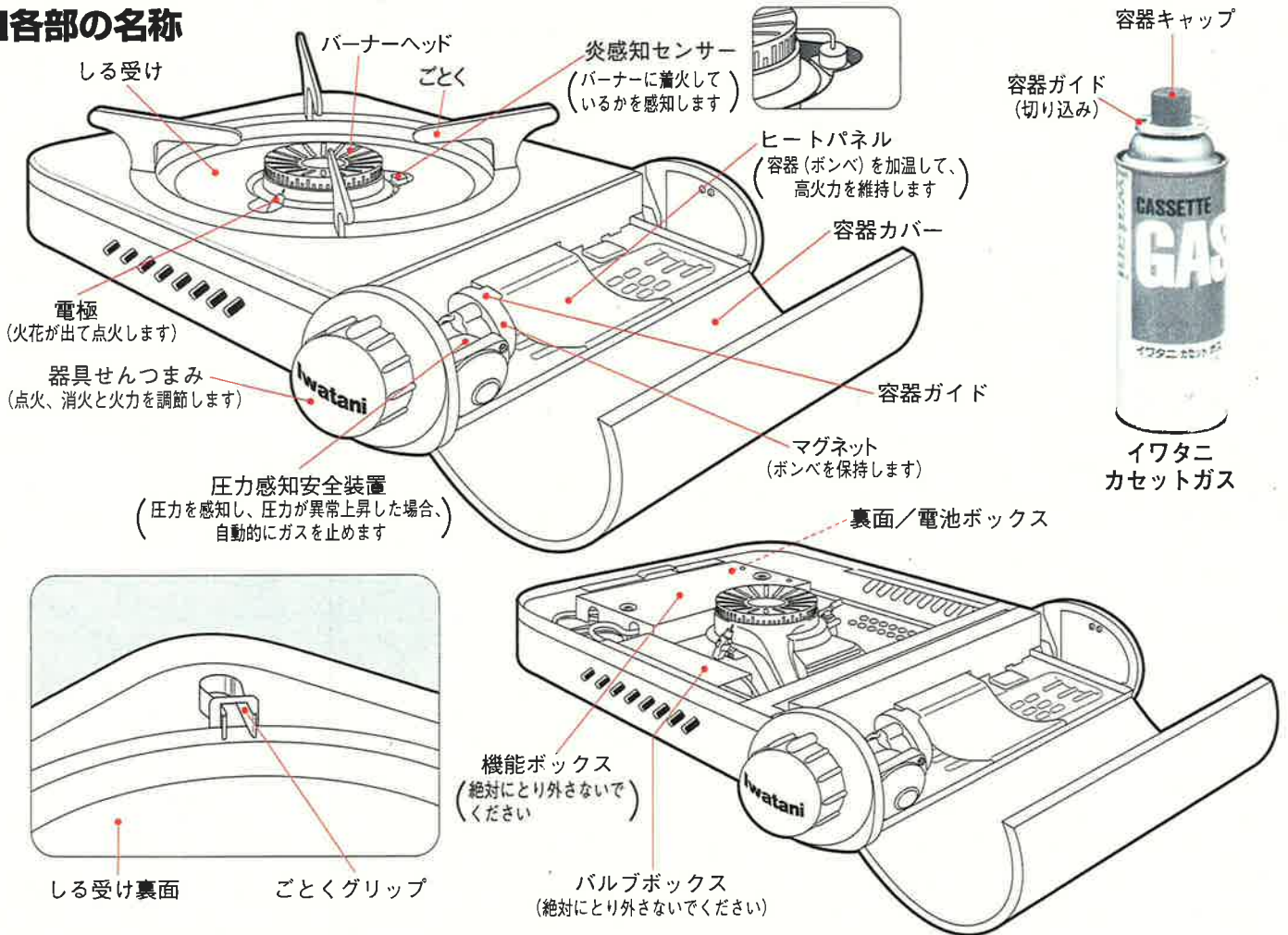
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。



各部の名称、仕様、特長

■各部の名称



■CB-ASF-35の特長

●マグネット着脱式

容器（ボンベ）の取り付け、取り外しが簡単なマグネット着脱式を採用しています。万一、容器（ボンベ）が過熱しても自動的に容器（ボンベ）が外れ、火が消えて安全です。（6～7ページの「器具の使用方法について」を参照してください）

●ヒートパネル方式

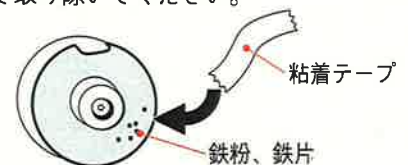
ヒートパネルの採用により、バーナーの熱を容器（ボンベ）に伝えて、容器（ボンベ）内ガスの気化を促進させ、高火力を維持することができます。〔このため容器（ボンベ）が熱くなりますが異常ではありません〕

■4つのお知らせ機能

- (1) 立ち消えお知らせブザー（ピー・ピー…と断続音がします。）
吹きこぼれ等で炎が消えてしまった場合に、自動的にガスが止まりブザーでお知らせします。
- (2) ガス切れお知らせブザー（ピー・ピー…と断続音がします。）
使用中にガスがなくなってしまった場合に、ブザーでお知らせします。
- (3) こんろの異常過熱お知らせブザー（ピーと連続音がします。）
誤使用により、こんろ本体の温度が異常上昇した場合に、自動的にガスが止まり、ブザーでお知らせします。
- (4) 容器（ボンベ）の異常過熱お知らせブザー（ピー・ピー…と断続音がします。）
誤使用により、容器（ボンベ）の温度が異常上昇した場合、圧力感知安全装置が作動し、ブザーでお知らせします。

■ボンベ装着時のご注意

マグネットに鉄片や鉄粉が付着するとガス漏れや容器（ボンベ）がセットできなくなる場合があります。付着したときは、粘着テープを使って取り除いてください。



容器（ボンベ）装着時にマグネットに付着物がないか確認してください。

各部の名称、仕様、特長

危険防止のための2つの安全装置

[1] 圧力感知安全装置

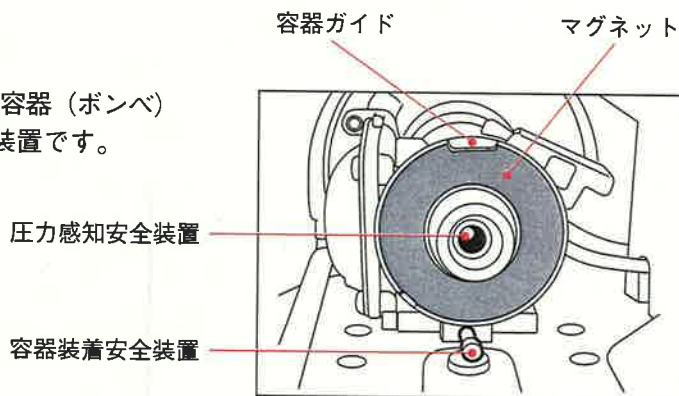
容器（ボンベ）が過熱され容器内の圧力が異常上昇したときに、自動的に容器（ボンベ）がはずれ、ガスの流れが止まり、こんろの火を消す装置です。

圧力感知安全装置が作動したときの処置方法

- ① 圧力感知安全装置が作動したときは「ピー・ピー…」と音がします。
- ② 器具せんつまみを「消」の位置に戻してください。
[お知らせブザー『ピー・ピー…』の断続音が止まります。]
- ③ 容器（ボンベ）をこんろから取り出してください。
[作動直後はこんろや容器（ボンベ）が熱いので、冷えてから容器（ボンベ）を取り出してください。]
- ④ 3～5ページの「特に注意していただきたいこと」をよく読んで、原因を取り除いてください。
- ⑤ 新しい容器（ボンベ）をセットしてください。
[新しい容器（ボンベ）がない場合には、外した容器（ボンベ）を水で冷やしてからセットしてください。
冷やさないと、再び容器（ボンベ）がはずれることがあります。]
- ⑥ 点火をしてください。もとどおり正常に使えます。

[2] 容器装着安全装置

器具せんつまみが「消」になっていないと、容器（ボンベ）が装着（セット）できないようにした安全装置です。



■主な仕様

機種名	イワタニカセットフー
型式	CB-ASF-35
点火方式	連続スパーク点火方式
安全装置	圧力感知安全装置（容器脱着型）
	容器装着安全装置
最大外形寸法（使用状態）	331mm（幅）×310mm（奥行）×87mm（高さ）
本体重量	約2.7kg（単2アルカリ乾電池2本含む）
使用ガス	ブタンガス
出力（ガス消費量）	4.1kW/h（3500kcal/h 296g/h）＜周囲温度20～25℃＞
連続燃焼時間	イワタニカセットガス使用時：約55分 ＜最大火力で、新品容器（ボンベ）を全て使用した実測値。周囲温度20～25℃＞
使用容器	イワタニカセットガス
使用できる鍋の大きさ	鍋の上面の直径26cmまで
付属品	単2アルカリ電池2本

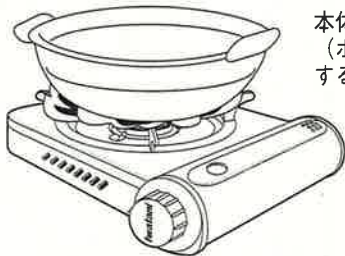
特に注意していただきたいこと

■容器（ボンベ）の過熱注意

⚠ 警告 次のような使い方は容器（ボンベ）が過熱し、爆発の原因となりますので絶対にしないでください。また、安全装置の作動を招く原因となります。

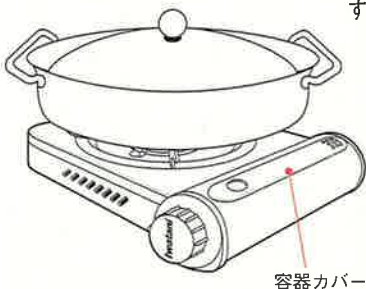
このカセットこんろには、ロストル（焼き肉用の網）は弊社の別売品以外はご使用にならないで下さい。思わぬ火災、焼損等の事故になる恐れがあります。

1) 調理容器の空だけは絶対にしない



本体に熱がこもり、容器（ボンベ）が過熱して爆発する恐れがあります。

2) 容器カバーを覆ってしまう大きな調理器具は使用しない

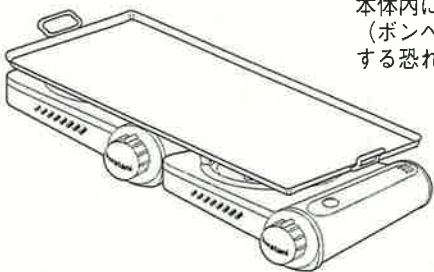


容器カバー

本体に熱がこもり、容器（ボンベ）が過熱して爆発する恐れがあります。

調理器具は、イワタニカセット専用アクセサリーシリーズをご使用ください。

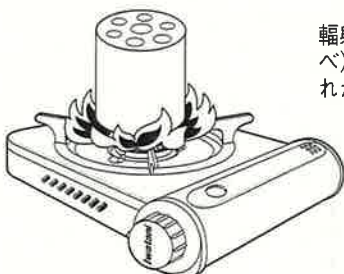
3) 2台以上並べて使用しない



本体に熱がこもり、容器（ボンベ）が過熱して爆発する恐れがあります。

● 2台以上並べての使用は非常に危険ですので、絶対におやめください。

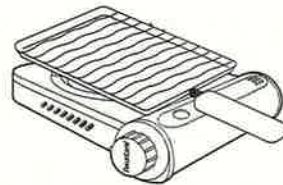
4) 調理以外の用途には使用しない



輻射熱により、容器（ボンベ）が過熱して爆発する恐れがあります。

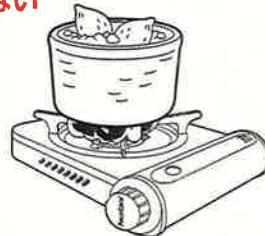
● 調理以外の用途（木炭、練炭などの火起こし等）に使用しないでください。

5) セラミック付焼網器、陶板、セラミックを使用した焼肉器等は絶対に使用しない



輻射熱により本体に熱がこもり、容器（ボンベ）が過熱して爆発する恐れがあります。

6) 石や砂、陶器などを使った焼きイモ器を使用しない



本体に熱がこもり、容器（ボンベ）が過熱して爆発する恐れがあります。

7) 電磁調理器・電熱器など熱を発生する器具の上では使用しない



間違っても電源が入ると、容器（ボンベ）が過熱され爆発する恐れがあります。

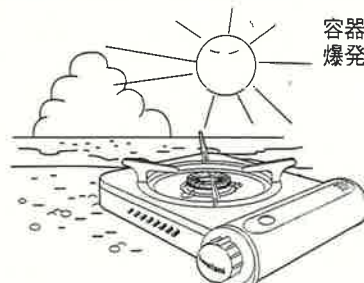
8) 火気の近くでは使用しない



火気からの輻射熱により、容器（ボンベ）が過熱して爆発する恐れがあります。

● 火気から2m以上離して使用してください。

9) 容器（ボンベ）が過熱する場所では使用しない



容器（ボンベ）が過熱して爆発する恐れがあります。

● 夏の砂浜、砂利など日光によって容器（ボンベ）が過熱するような場所では使用しないでください。

特に注意していただきたいこと

■使用容器（ボンベ）とその取扱について

⚠ 警告

1) 火気や直射日光を避ける

火気や直射日光（室内や車内の窓際なども含む）を避けて容器キャップをはめてから風通しがよく湿気の少ない40℃以下の場所で保管してください。また使用後は容器（ボンベ）をこころから取りはずし、同様の場所に保管してください。



3) 熱気のアたる場所に放置しない

容器（ボンベ）はファンヒーターの前など、熱気のアたる場所には放置しないでください。熱で容器（ボンベ）の圧力が上がり、爆発の原因になります。



2) 完全に使い切ってから廃棄する

- 使用済み容器（ボンベ）は必ず完全に使い終わってから資源ゴミとして分別廃棄してください。容器（ボンベ）にガスが残っていると清掃車の火災の恐れがあります。
- 容器（ボンベ）を振ってサラサラと音がする場合には、まだガスが残っています。湯を沸かすなどして使い切ってください。



4) 容器（ボンベ）は火中に投じない

容器は火中に投じないでください。火中に投入すると爆発し危険です。



⚠ 注意

1) 専用容器（ボンベ）を使用する

容器（ボンベ）は必ず「イワタニカセットガス」の表示のある専用容器を使用してください。他の容器（ボンベ）を使用するとガスが漏れたり、正常な使用ができない場合があります。

2) 落下させるような場所で容器（ボンベ）を保管しない

落下による破損やガス漏れによる引火の恐れがあります。

お願い

- 容器（ボンベ）に表示されている注意事項を必ずお読みください。
- 使用時は容器キャップをはずし、保管のときは容器キャップを押し込むだけにしてください。
- 保管している容器は、ときどき点検して、さびが発生している場合は、ガス漏れがないことを確認してできるだけ早くご使用ください。
- 容器（ボンベ）のガスを故意に吸い込まないでください。人体に害を与えることがあります。

■使用場所についてのご注意

⚠ 警告

次のような場所では火災の原因となりますので使用しないでください。

●引火物（ガソリン、灯油、ガスなど）が近くにある場所

引火による爆発の恐れがあります。



●カーテンなどが触れる場所や燃えやすいもの、熱に弱いもののそば

引火による火災の恐れがあります。



●落下物の危険がある場所

引火や調理器具の転倒によるやけどの恐れがあります。



●熱気のアたる場所や、風の吹き込む場所

過熱により爆発する恐れがあります。風により炎が横に流れ、本体やテーブルをこがすことがあります。



⚠ 注意

■屋外で使用するときは次のことを注意してご使用ください

- 直射日光のアたる場所では使用しない → 容器（ボンベ）が過熱され爆発の恐れがあります。
- 地面の熱くなっている場所では使用しない → 地面からの熱で容器（ボンベ）が過熱され爆発の恐れがあります。
- こんろの底が砂や小石などで埋まる場所では使用しない → 放熱が悪くなり、容器（ボンベ）が過熱され爆発の恐れがあります。
- 強い風が吹き込んでいる場所では使用しない → 炎が吹き消され、ガス漏れを起こす場合があります。

⚠ 注意

- 風の吹き込む場所では使用しない……………風により炎が吹き消されることがあり危険です。
- 不安定な場所では使用しない……………不安定な場所で使用すると、こんろがひっくり返り危険です。
- タタミやジュウタンなど燃えやすいものの上では使用しない
- こんろの底部から空気や煙などを吸い込む場所では使用しない

特に注意していただきたいこと

■火災事故、ガス事故防止のために

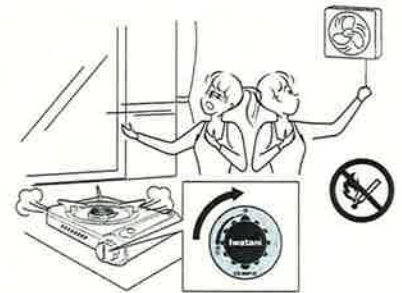
⚠ 警告 火災予防、ガス事故防止のため、次のことをお守りください。

●ガス漏れに気づいたら、すぐに火を消す

ガスが漏れるとガスのニオイ（くさった玉ねぎのようなニオイ）がします。ボタンガスは空気より重く下部にたまりやすいため、電気製品のスイッチを入れたり、火気の使用をしないで、すぐに次の処置を行ってください。

（引火により爆発のおそれがあります）

- ① 直ちに火を止める。（器具せんつまみを「消」の位置にする）
- ② 容器（ボンベ）をはずす。
- ③ 窓や戸をあけて漏れたガスを外に追出す。

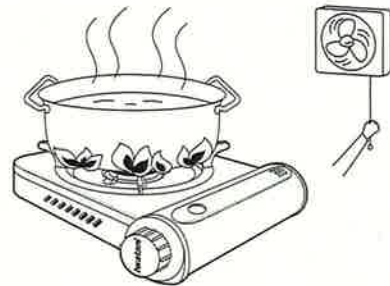


●使用中は換気をする

ご使用と同時に換気扇を回すなど換気にご注意ください。長時間しめきった部屋で使用すると、酸欠や酸素不足による不完全燃焼で一酸化炭素中毒の恐れがあります。

●予備の容器（ボンベ）やヘアスプレーを置かない

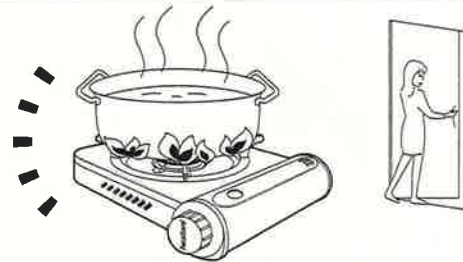
こんろを使用中、近くに予備の容器（ボンベ）やヘアスプレーなどを放置しないで下さい。引火や爆発の恐れがあります。



●火を付けたまま側を離れない

火を付けたままで外出など、こんろのそばを離れたり、就寝しないでください。

- ☎電話や来客などの場合も、いったん、火を消してください。
- ☎特にてんぐらなど、揚げものをしている時は危険です。



●子供だけで使わせない

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。

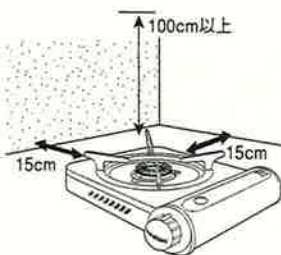
●こんろを衣類の乾燥やストーブの代わりに使用しない

衣類が落下するなど、火災の原因となります。

⚠ 注意

■周囲の防火措置

●使用の際には家具や壁（木造建築）などの可燃物から周囲15cm以上離してご使用ください。こんろ上方と、可燃性の天井、棚、電気器具などの間は100cm以上離してください。



●塗装、うるし塗りなど熱に弱いテーブルの上でご使用のときは不燃性の断熱材をこんろの下に敷いてください。（使用中のこんろの底部はたいへん熱くなっていますので十分ご注意ください）

●調理以外には使用しない

過熱異常燃焼などによる焼損や火災などの危険があります。

●火のついたまま傾けたり、移動させない

転倒するとやけどや火災の原因になります。

●こんろのバーナー付近に顔や手を近づけない

炎によりやけどの恐れがあります。

●使用中および消火後しばらくはこんろに触れない

使用中および消火直後のこんろは高温になっています。しばらくは器具せんつまみ以外には手を触れないでください。

●こんろの下に燃えやすいもの、熱に弱いもの（テーブルクロス、ビニールクロス、新聞紙など）を敷いたり、通気の妨げになるものを置かないでください。

お願い

- 使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中も時々燃焼していることをお確かめください。
- あまり炎が小さすぎると、風で消されることがありますのでご注意ください。

お願い



器具の使用方法について

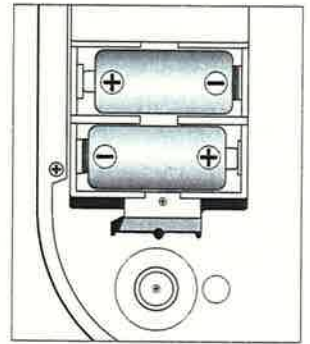
■使用前の準備と確認

1) 乾電池の取付

こんろを裏返し、電池ボックスの中に乾電池（単2形アルカリ電池）を正しくセットしてください。
⊕⊖を間違えないようにしてください。また、**本器具は乾電池をセットしないとご使用できません。**

お願い

- 電池ケースに水などの異物が入った場合、乾電池接触不良の原因となりますので、ふき取ってきれいにしてください。
- 乾電池は、単2形アルカリ電池をご使用下さい。（マンガン乾電池の場合は寿命が短くなります。）
- 乾電池は、必ず2個とも同種類の新品の乾電池をご使用ください。
- 乾電池が消耗していると、点火しなかったり、点火してもすぐに火が消えることがあります。この場合は、新しい乾電池と交換して下さい。
- 付属の乾電池は工場出荷時に納められたもので自然放電のため寿命が短くなっている場合があります。

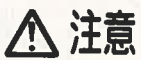


2) 容器（ボンベ）の取付け



警告

- 使用前には必ずガス漏れの確認、点火、消火の確認をしてからご使用ください。
- 故障または破損したものとと思われるものは絶対に使用しないでください。



注意

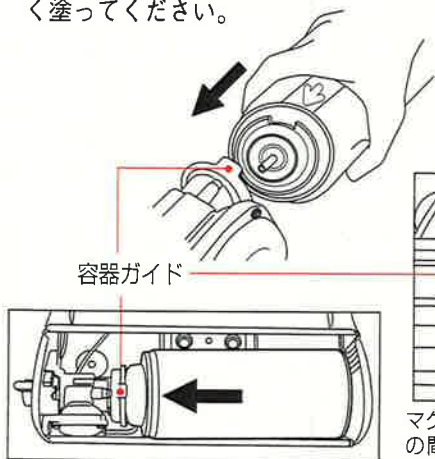
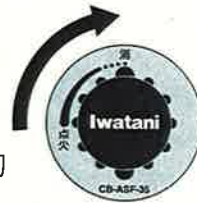
- 器具せんつまみが「消」の位置にないと容器装着安全装置（2ページ参照）が働き、容器（ボンベ）が装着できません。



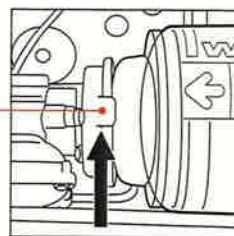
警告

- 容器（ボンベ）を確実に装着しないとガスが漏れて火災の原因となります。

- 容器カバーを開けてください。
 - 器具せんつまみを「消」の方向へ止まるまで回してください。
 - マグネットに異物が付着していないか確認してください。
 - 容器（ボンベ）の容器キャップをはずしてください。
 - ヒートパネルに容器（ボンベ）を載せ、この容器（ボンベ）の切り込みをマグネットのガイドに合わせます。そして、容器（ボンベ）の頭近くに手を添えて、そのまま水平にスライドさせ、「カチッ」という音が出るまで押しつけて装着します。
- ※容器（ボンベ）の取付け（装着）力が重い場合には、右図 **A** の個所に植物油を薄く塗ってください。



カセットガス使用時

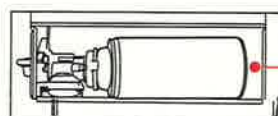


マグネットと容器（ボンベ）の間に隙間がないように確実に取り付けてください。



警告

- 容器（ボンベ）の底部と、本体の間に物（小石や厚紙の束など）をはさまないでください。圧力感知安全装置が働かなくなり、容器（ボンベ）が爆発する恐れがあります。



ここに物をはさまないこと。

- 容器（ボンベ）を装着したら容器カバーを閉じてください。

器具の使用方法について

■使用方法

1. 点火する

- 器具せんつまみを、点火方向に回して下さい。点火方向に回している途中で『パチパチ…』と電極から火花が飛びます。点火したことを確認して下さい。
- ※点火しない場合、約8秒後に『ピー・ピー…』とブザーが鳴ります。対処方法は、8ページの「お知らせブザーが鳴ったとき」をご覧ください。
- ※点火直後炎感知センサーに風などが当たり、炎を感知することが出来なくなると『パチパチ…』と火花を飛ばすことがあります。異常ではありません。

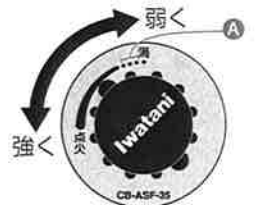


⚠ 注意

- 未点火の状態つまみを「消」以外の位置にしておくと生ガスが出て危険です。
- 使い始めのときや、容器（ボンベ）の温度が高いときには点火しにくい場合があります。注意しながら数回、点火操作を繰り返して下さい。
- 点火したときに、バナーより炎が離れて燃焼しているときがありますが、異常ではありません。2～3分間、器具せんつまみを少し絞って使用して下さい。

2. 火力を調整する

- つまみを「点火」方向に回すと火力を強く、「消」方向に回すと弱くすることができます。
- 右図のAの部分では、炎がでませんので、実線内で調整して下さい。



⚠ 注意

- 炎を小さくしすぎると、風で消えやすくなりますので、ご注意ください。

3. 消火する

- 器具せんつまみを「消」方向に止まるまで戻し、消火して下さい。
- 消火時に『ポッ』という音がすることがありますが、これは火が消えたときの音で異常ではありません。

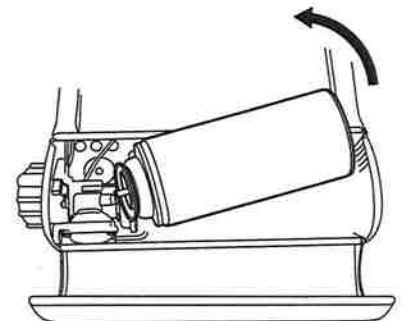


4. 使用後の確認

- 使用後は、完全に火が消えたことを確認して下さい。消火直後は本体・容器（ボンベ）とも熱くなっていますので、しばらくたってから容器（ボンベ）を取りはずして下さい。

5. 容器（ボンベ）を取りはずす

- 容器カバーを開け、容器（ボンベ）の底を持ち上げながら取りはずします。
- 容器（ボンベ）を取りはずしてから容器カバーを閉じてください。



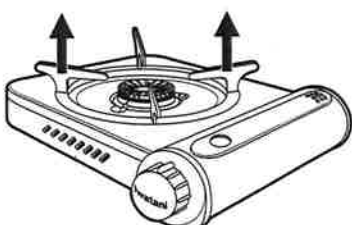
⚠ 注意

- 容器（ボンベ）を取りはずした後も、こんろの配管には少量のガスが残っています。危険防止のため、もう一度残っているガスを燃焼させてください。

6. 乾電池を取りはずす

- 使用後は、乾電池の消耗を防ぐため、必ず乾電池を取り外して下さい。

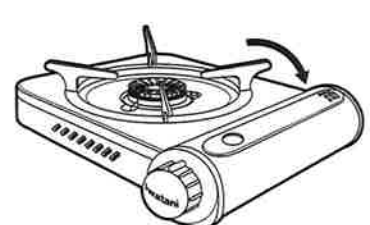
■しる受けの取りはずし方



1) しる受けのごとくを上方向に持ち上げると取りはずすことができます。



2) しる受けの角にまるみのある側をこんろ本体の矢印部分に合わせます。



3) 反対側を矢印方向に本体へ押し付け、取り付けます。

お知らせブザーが鳴ったときは

お知らせブザーが鳴ったときは、すぐに器具栓つまみを「消」の位置まで戻し、消火の状態にしてください。ブザーがすぐに止まります。

(注) 消火直後は、本体、容器（ボンベ）とも熱くなっているので十分に冷えてから次の処置を行ってください。

ブザー音	お知らせ機能	考えられる原因	処置方法
点火しないで約8秒後にピー・ピー（断続音）	ガス切れ お知らせブザー	容器（ボンベ）にガスがない。	新しい容器（ボンベ）を使用してください。
		容器（ボンベ）が正しくセットされていない。	正しくセットされているか確認してください。（6ページ参照）
		乾電池が消耗している。	新しい乾電池と交換してください。（6ページ参照）
使用中消火しピー・ピー（断続音） (注) 参照	ガス切れ お知らせブザー	使用中にガスがなくなる。	ガスが無くなっていないかを確認し、無くなっている場合は、新しい容器（ボンベ）をセットしてください。
		乾電池が使用中に消耗する。 ※乾電池の容量がなくなった場合、自動消火します。	新しい乾電池と交換してください。（6ページ参照）
	容器(ボンベ)の異常過熱 お知らせブザー	圧力感知安全装置が作動している。	圧力感知安全装置が作動したときの処置方法をご覧ください。（2ページ参照）
	立ち消え お知らせブザー	吹きこぼれで炎が消える。	<ul style="list-style-type: none"> ・「日常の点検・手入れの際のご注意」のバーナーの目づまり、電極・炎感知センサーの汚れ（9ページ参照）をご覧ください、お手入れをおこなってください。 ・再度、点火操作をおこなってください。
		炎感知センサーに風があたる。	風の吹き込む場所や、風の吸い込む場所を避けて使用してください。
使用中に消火してピー（連続音） (注) 参照	こんろの異常過熱の お知らせブザー	誤った使用をしている。（3ページ参照）	<p>「特に注意していただきたいこと」をよく読んで原因を取り除いてください（3ページ参照）。</p> <p>※機能上、再点火してもすぐに火が消えます。十分に本体をさましてから点火してください。</p>

日常の点検・手入れ、故障かなと思ったら

■点検・手入れの際のご注意

日常の点検、手入れは必ずおこなってください。

点検・手入れの際には、機能ボックス、バルブボックスは絶対に外さないでください。

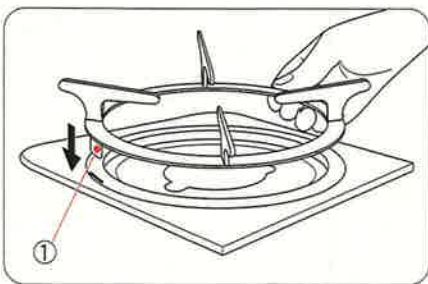
点 検	手入れ方法	ご 注 意
煮こぼれの有無	固く絞った布で煮こぼれをふき取ってください。 汚れのとれにくいときは中性洗剤で手入れした後、乾いた布で、十分に水気を取っておいてください。	手入れの際は、ガス導管（銅パイプ）を動かさないでください。
バーナーの目づまり	やわらかいブラシや千枚通しなどできれいに掃除をしてください。（このとき、電極・炎感知センサーの位置を動かさないようにしてください。）	不完全燃焼、あるいは炎の不揃いの原因になります。 バーナーはつねにきれいにしておいてください。 バーナー表面は、メッキ処理及び耐熱塗装してあります。中性洗剤以外の洗剤やブラシ等で擦ると剥がれることがあります。万が一剥がれた場合でもそのままご使用いただけます。
電極・炎感知センサーの汚れ（点火しなくなった場合）	電極・炎感知センサーの汚れは、乾いた布でふきとってください。	点火不良の原因となります。お手入れのとき、器具栓つまみを点火方向に操作すると感電することがあります。
本体・容器（ボンベ）ごとくの汚れ	乾いた布でよく拭いてください。汚れのとれにくいときは、中性洗剤で手入れした後、乾いた布で十分に水分を取っておいてください。	シンナー・ベンジン・みがき粉などの使用は、表面を傷つける恐れがあります。また、ナイロンたわし・金属製のたわしでこすると、本体、容器（ボンベ）やごとくを傷つけます。

⚠ 注意

- 手、指の保護のため、必ずゴム手袋などを使用してください。
- 本体の丸洗いは絶対におやめください。ガス通路に水が入ると、ガスが出なくなったり、サビの原因となります。
- 点検・手入れの前には、必ず容器（ボンベ）を取り外してください。
- 点検、手入れはこんろが冷えてからおこなってください。
- ガス通路部分は絶対に分解しないでください。
- 特に煮こぼれたときは、必ずバーナーヘッドの清掃をおこなってください。

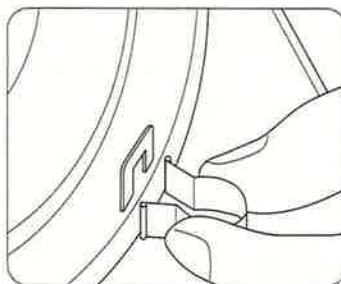
■しる受けとごとくの取り付け方

ごとくとしる受けの位置決め



1) ごとく突起①をしる受けの角溝に入れてください。

ごとくクリップの止め方



2) しる受けを裏返し、ごとくクリップをごとく角穴につまみながら挿入する。必ず2箇所クリップで止めてください。また、ごとくクリップは専用品となりますので、紛失等しないように管理してください。

■長期間使用しないとき

- 本体などが汚れていないか、よく乾いているか確認してください。
- 器具の各部が十分に冷えてから、梱包箱または袋に入れて、湿気の少ない場所に保管してください。
- こんろに容器（ボンベ）をセットした状態のまま保管することは絶対におやめください。別々に保管してください。
- こんろは、ときどき点検して、さびたりしないように、手入れをおこなってください。
- 乾電池をはずしてください。



■故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったら修理を依頼する前に次のことをお調べください。

現象	原因	処置	参照ページ
・容器(ボンベ)がセットできない	他社容器(ボンベ)を使用している。	イワタニカセットガスを使用してください。	4
	容器(ボンベ)のセット不良。	容器(ボンベ)の容器ガイドを正しくセットしてください。	6
	マグネットに異物が付着。	『ボンベ装着時のご注意』に従って異物を取り除いてください。	1
	器具栓つまみが『消』になってない。	器具栓つまみを『消』にしてセットしてください。	6
	本体が変形している。	点検修理の依頼をしてください。	
・点火しない ・点火しにくい ・点火してもすぐに消える	他社容器(ボンベ)を使用している。	イワタニカセットガスを使用してください。	4
	ガスが少なくなっている。	新しい容器(ボンベ)に取り替えてください。	
	電極部・炎感知センサーの汚れ・水分の付着。	汚れ・水分をふき取ってください。	9
	バーナー炎口部の目づまり、水分の付着。	バーナー炎口部を清掃してください。	9
	乾電池が入っていない、または正しくセットされていない。	乾電池を正しくセットしてください。	6
	乾電池が消耗している。	新しい電池と交換してください。	6
	容器(ボンベ)のセット不良。	容器(ボンベ)の容器ガイドを正しくセットしてください。	6
	本体が異常に過熱する。	本体を十分に冷やしてください。	3・8
・バーナーに火移りしない ・黄炎で燃える ・炎が安定しない ・炎が不揃い ・火力が弱い	ガスが少なくなっている。	新しい容器(ボンベ)に取り替えてください。	
	バーナー炎口部の目づまり、水分の付着。	バーナー炎口部を清掃してください。	9
	器具栓つまみが最大火力でない。	点火方向に回してください。	7
・ガスの臭いがする	容器(ボンベ)をセットするとき、または外すときにガスの臭いがすることがある。	しばらくして臭いがないようなら点火操作を行ってください。	
	故障している可能性がある。	点検修理の依頼をしてください。	11
	他社容器(ボンベ)を使用している。	イワタニカセットガスを使用してください。	4
	容器(ボンベ)の不良。	新しい容器(ボンベ)と交換してください。	
・使用中に消火し、お知らせブザーが鳴った	故障・異常ではありません。	『お知らせブザーが鳴ったときは』を参照してください。	8

なお、異常のあるときやおわかりにならないときは、お買い上げの販売店、お客様相談室または岩谷産業各事業所にお問い合わせください。不完全な処置は事故の原因となります。

アフターサービス

■サービス（修理、点検）を依頼される前に

- ① 8ページの「お知らせブザーが鳴ったときは」10ページの「故障かなとおもったら」の項をみてもう一度ご確認ください。
- ② 正しいご使用にもかかわらず万一、故障をした場合は、お買い上げの販売店、お客様相談室または下記の岩谷産業各事業所にお問い合わせください。

お客様相談室 フリーダイヤル 0120-156269 (土・日・祝日を除く)
9:00~17:15
 FAX 03-5405-5637

■保証について

- ① このころには「保証書」がついています。保証書はお買い上げの販売店で発行しておりますので、お買い上げ日、販売店名、扱者印が記入されていることを確認して、お受け取りください。所定事項の記入がないと無効となりますので、記入がないときはお買い上げの販売店に申しつけてください。
- ② 万一、故障した場合は、保証書の記載内容により、保証期間内は無償修理いたしますので、大切に保管してください。
- ③ 保証書に記載されている無償修理規定以外は有償になります。

アフターサービスをお申しつけ
 のときは、つぎのことをお知らせ
 ください。

- ご住所、ご氏名、電話番号
- 商品名、型式名（本体銘板のもの）
- 不具合内容（できるだけ詳しく）
- ご購入日

■補修用性能部品の保有期間について

このころの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は製造打ち切り後、5年間保有しています。

★保証書をご提示の上、アフターサービスをお申し込みください。

保証書

イワタニカセットフー

型名	CB-ASF-35	製造番号	お名前
保証期間	本体	一年	お買い上げ日 □年□月□日 ~ □年□月□日まで
取扱販売店・住所・電話番号			ご住所 お電話 ()

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
 お買い上げの日から上記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、
 お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

Iwatani 岩谷産業株式会社

〈無料修理規定〉

- 1 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げ販売店（修理申出先）が無料修理致します。
- 2 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、商品と本書をご持参ご提出の上、お買い上げ販売店（修理申出先）に依頼してください。
- 3 ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、下記所在地の一覧表をご覧の上、お近くの岩谷産業株式会社へご相談ください。
- 4 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害による故障及び損傷
 - (ニ) 一般家庭用以外（例えば、業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷

- (ホ) 保証書の提示がない場合
 - (ヘ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き替えられた場合
- 5 保証書は日本国内においてのみ有効です。
 6 保証書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または下記の岩谷産業各事業所にお問い合わせください。

東京本社 〒105-8458 東京都港区西新橋3-21-8 Ⅱ 03-5405-5615 中国支社 〒730-0050 広島市中区銀山町2-21 Ⅱ 082-248-3161
 大阪本社 〒541-0053 大阪市中央区本町3-4-8 Ⅱ 06-6267-3213 九州支社 〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街3-36 Ⅱ 092-451-2220
 中部支社 〒460-0011 名古屋市中区大須4-11-39 Ⅱ 052-242-1246

岩谷産業株式会社

CB-ASF-3

02,08